

# 「ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿」に関するシンポジウム

## ー参加募集ー

主 催：公益社団法人日本コンクリート工学会  
後 援：土木学会、日本建築学会、セメント協会、  
(予定) 全国生コンクリート工業組合連合会、日本砕石協会、  
日本砂利協会、コンクリート用化学混和剤協会

---

アルカリシリカ反応 (ASR) に対する診断や抑制対策の考え方は、国内外で大きく変わりつつあります。抑制対策以降の被害、ASR が発生した構造物の補修後の再劣化など、様々な場面で技術的課題が顕在化してきました。また、建設分野においても国内技術の海外展開が積極的に進められております。国内とは異なる地質構造の海外展開への対応も含め、ASR に対する診断や抑制対策の考え方を提示することは必要不可欠となっています。

このような背景の下、平成 23 年度に「ASR 診断の現状とあるべき姿研究委員会」が設立され、3 年間にわたって活動を行ってまいりました。委員会では、コンクリート構造物における ASR のリスクの考え方を基に、ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿について議論してきました。これら議論の成果として、本研究委員会は診断フローや抑制対策を提案いたしました。

この度、本研究委員会の 3 年間の活動成果を報告するとともに、標記シンポジウムを開催し、ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿について議論する場を設けることとなりました。つきましては、関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

東京会場では委員会報告とともに 3 件の基調講演を予定しております。提案する診断方法、コンクリートプリズム試験、抑制対策については事例適用を含めて解説します。基調講演のない地方開催 (8/29：福岡、9/5：北海道、9/30：大阪、11/5：金沢) も予定しております。地方開催の詳細については、別途ご連絡いたします。

### 1. 開催日時

7 月 18 日 (金) 9:45～17:00

### 2. 開催場所：

東京大学駒場キャンパスコンベンションホール

### 3. プログラム (予定)：

9:45	～	10:00	開会挨拶 山田一夫 (国立環境研究所)
10:00	～	10:40	基調講演 1「造りこなして、使いこなす (仮)」 宮川豊章 (京都大学)
10:40	～	11:20	基調講演 2「ASR 抑制を目指したフライアッシュコンクリートの汎用化 ー北陸地方での活動と実績ー」 鳥居和之 (金沢大学)
11:20	～	12:00	基調講演 3「アルカリ骨材反応の岩石学的診断の効用と留意点 (仮)」 片山哲哉 (太平洋コンサルタント)
12:00	～	13:00	昼食・休憩
13:00	～	13:20	委員会設立趣旨
13:20	～	15:20	WG 活動報告

15:20	～	15:40	休憩
15:40	～	16:20	トピック紹介
16:20	～	16:55	質疑応答
16:55	～	17:00	閉会挨拶

4. 参加費（東京会場）：

- （1）参加費：正会員（個人）8,000円／\*（1）団体会員構成員 10,000円／会員外 12,000円／\*（2）学生 4,000円（いずれも配布資料と消費税を含みます）

5. 申込方法：

- 1) 参加費を郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください。

（払込手数料は申込者にてご負担願います。）

振替口座番号：00120-5-99133

（加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会）

\*通信欄にシンポジウム名・参加者氏名を必ず明記してください。

\*納入された参加費は、定員に達しお断りしたとき以外はお返しいたしません。

予めご了承ください。

6. 申込締切：定員（東京会場：200名）になり次第、締め切らせていただきます。  
お早めにお申し込みください。

7. 連絡先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F  
公益社団法人 日本コンクリート工学会  
「ASR 診断と抑制対策シンポジウム」係（担当：渡部）  
TEL：03-3263-7204 / FAX：03-3263-2115  
E-mail：watanabe@jci-net.or.jp ※@を半角に直してください。